



2026年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年6月5日

上場会社名 株式会社トラース・オン・プロダクト 上場取引所 東
コード番号 6696 URL <https://www.traas.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤吉 英彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0（氏名） 青柳 貴士（TEL） 045-595-9966
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年1月期第1四半期の業績（2025年2月1日～2025年4月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年1月期第1四半期	142	73.0	7	—	9	—	7	—
2025年1月期第1四半期	82	9.7	△8	—	△8	—	△9	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	1.49	1.45
2025年1月期第1四半期	△2.05	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年1月期第1四半期	515	419	81.2
2025年1月期	542	412	75.7

（参考）自己資本 2026年1月期第1四半期 418百万円 2025年1月期 410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年1月期	—				
2026年1月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	576	40.0	11	127.0	11	65.9	6	169.9	1.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は6ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期1Q	4,824,991株	2025年1月期	4,824,991株
② 期末自己株式数	2026年1月期1Q	111株	2025年1月期	111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期1Q	4,824,880株	2025年1月期1Q	4,815,380株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第1四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加、各種政策の効果等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ウクライナ情勢や中東地域の不安定化、資源価格の高騰、為替の変動、米国金融政策や中国経済の減速懸念など国内の景気を下押しするリスクもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、過去からのBtoB市場に向けた単なるモノの販売から脱却し、成長方針に掲げるBtoB市場に向けたモノづくりを基盤としたSaaS月額課金型サービスを当社の主力事業とすべく、継続して経営資源をその事業へ集中し事業転換を図っております。

当第1四半期累計期間においては、主にTRaaS事業では、大手携帯キャリアショップ約2,000店舗へのデジタルサイネージプラットフォーム「CELDIS」の設置・導入がスタートし、AI電力削減ソリューション「AIrux8」、流通小売店舗を対象としたDX店舗活性プロダクト「店舗の星」においても、戦略販売パートナーと連携し、SaaS月額課金型サービスへの事業転換に向けて、さらなる導入拡大を目指し事業を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は142,079千円(前年同期比73.0%増)、営業利益は7,983千円(前年同期は8,522千円の損失)、経常利益は9,066千円(前年同期は8,402千円の損失)、四半期純利益は7,173千円(前年同期は9,874千円の損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(TRaaS事業)

TRaaS事業の当第1四半期累計期間におきましては、AI電力削減ソリューション「AIrux8」について、2025年2月に、戦略販売パートナーである加賀FEI株式会社と連携し、大手電子機器メーカー事業へ導入が決定いたしました。また、現在、導入を検討されているお客様からのお問い合わせも着実に増加しており、消費電力削減効果や機能性をご確認いただきながら商談が進行しております。実際の導入に向けては、お客様の多様なニーズに応じた最適な提案を行うとともに、お客様からの空調消費電力量の削減実績および導入効果に対する高い評価を得ることで、さらなる導入拡大が見込まれます。今後、戦略的販売パートナーとの連携を一層強化し、事業の加速を図ってまいります。

「店舗の星」については、海外での導入実績および効果を踏まえ、本格的な国内外への展開に向けて、改善点の洗い出しやシステムのアップデートに加え、アプリ開発を計画しており、唯一無二のOMO(Online Merges with Offline)ソリューションとしての確固たるポジション確立を目指してまいります。

これらの「AIrux8」及び「店舗の星」についてのSaaS月額課金型ビジネスへの事業モデル転換には一定の時間が必要と認識しておりますが、着実にプロジェクト進行を進めながら、堅調に売上高は推移いたしました。

また、デジタルサイネージプラットフォーム「CELDIS」については、2025年3月に大手携帯キャリアショップ約2,000店舗への採用決定により、「CELDIS」導入が当第1四半期より進行しており、売上高の増加に大きく貢献いたしました。

以上の結果、売上高は82,156千円(前年同期比397.8%増)、セグメント利益は42,336千円(同227.5%増)となりました。

(受注型Product事業)

受注型Product事業の当第1四半期累計期間におきましては、インバウンド需要の拡大によるホテル、飲食店等のホスピタリティ市場の回復により、お客様からのSTB等の引き合いが増加し受注が増加したものの、前期大型案件の反動減により売上高は前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、売上高は21,261千円(前年同期比18.9%減)、セグメント利益は10,176千円(同49.3%減)となりました。

(テクニカルサービス事業)

テクニカルサービス事業の当第1四半期累計期間におきましては、大型システム開発案件の継続受注により、システム開発における売上は堅調に推移いたしましたが、エンジニア派遣ビジネスにおいて、一部エンジニアを大型システム開発案件に従事させることとしたため、売上高は前年同期比で微減となりました。

以上の結果、売上高は38,661千円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益は16,445千円（同8.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ27,413千円減少し、515,058千円となりました。これは主に、現金及び預金が24,504千円、受取手形、売掛金及び契約資産が4,742千円、商品及び製品が2,190千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ34,587千円減少し、95,811千円となりました。これは主に、買掛金が26,162千円、賞与引当金が3,617千円、未払法人税等が2,999千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ7,173千円増加し、419,246千円となりました。これは主に、利益剰余金が7,173千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年3月13日付で公表しました業績予想からの変更はありません。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	314,851	290,347
受取手形、売掛金及び契約資産	101,042	96,300
商品及び製品	26,894	24,704
原材料及び貯蔵品	28	23
その他	18,288	19,894
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	461,103	431,269
固定資産		
有形固定資産	14,292	13,789
無形固定資産	62,146	64,749
投資その他の資産		
長期前払費用	508	902
差入保証金	4,421	4,346
投資その他の資産合計	4,929	5,249
固定資産合計	81,368	83,788
資産合計	542,471	515,058
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,464	1,302
未払法人税等	6,368	3,369
賞与引当金	7,037	3,420
その他	29,528	27,719
流動負債合計	70,398	35,811
固定負債		
長期借入金	60,000	60,000
固定負債合計	60,000	60,000
負債合計	130,398	95,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,982	593,982
資本剰余金	539,608	539,608
利益剰余金	△722,488	△715,314
自己株式	△246	△246
株主資本合計	410,856	418,030
新株予約権	1,216	1,216
純資産合計	412,073	419,246
負債純資産合計	542,471	515,058

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

	(単位：千円)	
	前第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	82,120	142,079
売上原価	31,232	73,120
売上総利益	50,887	68,959
販売費及び一般管理費	59,410	60,975
営業利益又は営業損失(△)	△8,522	7,983
営業外収益		
受取利息	2	140
為替差益	119	1,048
消費税差額	10	8
その他	8	1
営業外収益合計	141	1,199
営業外費用		
支払利息	21	117
営業外費用合計	21	117
経常利益又は経常損失(△)	△8,402	9,066
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△8,402	9,066
法人税等	1,471	1,892
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,874	7,173

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計（注）
	TRaaS事業	受注型Product事業	テクニカルサービス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	16,505	26,203	39,411	82,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	16,505	26,203	39,411	82,120
セグメント利益	12,926	20,076	17,884	50,887

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計（注）
	TRaaS事業	受注型Product事業	テクニカルサービス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	82,156	21,261	38,661	142,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	82,156	21,261	38,661	142,079
セグメント利益	42,336	10,176	16,445	68,959

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	4,894千円	7,477千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。